

広報



ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876)2430番 一部 5円
郵便番号 018-117 毎月 1日・15日発行

人口と世帯

世帯数 3,967 世帯
人口 17,073 人
内訳 { 男女 8,242 人
 8,831 人

住民登録調 (52年10月末日現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。

スキーヤーの要望に添えて

昭和四十七年冬からオープンした恋地国設スキー場は、利用者も年毎にふえて、昨年度のシーズン末までの利用者は約四万三千人を数えている。

このスキー場は、北側に斜面が向き、山にかこまれて盆地の模様を呈している。場所的に非常によい環境に恵まれている。中央地区にスキー場が不足だけに、町内のスキー愛好者はもちろん、町外からの人も非常に多くなっている。今冬からスキーヤーの要望に添えて、本格的なリフトを設置する。リフトの長さは、水平で四二〇・四四四(傾斜長で四三八・九二四)で、今までのロープ塔より一四〇メートル長く、ほぼ頂上に達している。

完成すれば二・三・七ヘクタールのゲレンデ

国設スキー場の造成は年次計画ですすめられているが、国有地十萬四四〇平方メートル、民有地十三萬七千四四〇平方メートルで、整備が完成すると、二十三萬七千八八〇平方メートル(約二三・七ヘクタール)となる。

この内ゲレンデが十一萬八千八四〇平方メートル、エプロン(スキーヤーの集合地、乗降に利用する場所)四萬六千四〇平方

恋地国設スキー場に

本格的なリフトを設置

総保残帯三萬一千四八〇平方メートル、第一駐車場一萬六千四八〇平方メートル、第二駐車場七千六八〇平方メートル、第三駐車場一萬平方メートル、その他七千三六〇平方メートルとなっている。

猿田さん(役場管財課勤務)さんは、四十七年以來この

スキー場の整備に従事している。ブルドーザー運転の名手と言われる程の腕前だが、岩盤地帯で土砂とブルが一緒にスベリ走るときは生きた心地がしないという。それでも着工当時にくらべて、今は倍以上の面積になったスキー場を見ると、恐かった思い出も、座っている部分の皮フのタダレもつい忘れて次の整地難所をどうして克服するかを考えてしまうようである。試みにどの位の恐ろしさを感じるかを乗せてもらった。頂上をめがけての空ブルであったが、ブルの振動が恐怖のためか小さく感じ、ブルが体を震うので途中で降りることもなかった。いわんや下るときは想像を絶するものと思われる。

スキー場内をなめるように緩急自在に整地する猿田さんを見てみると、いとおしいわが子を愛撫する姿によく似ていた。今年の国設スキー場は、今までより更に広く深いふところ。スキーヤーたちを迎えてくれることだろう。



スキー場の整備にいそしむ猿田さん

△広報サロン▽

スポーツの生活化に

お手伝い



帝釈寺 宮川庄太郎

十一月一日秋田県教育功労社会体育部門で表彰されるという栄誉に浴した。

スポーツの実技に関しては「我以外みな師」であり、他人より秀れた点を見出す事は殆んど不可能である。にもかかわらずその対象になったことに恐れ入っている。ただスポーツを愛することは人後に落ちないと思っている。社会体育の道に入ったのは公民館関係の仕事にタッチするようになってからで、年を重ねるごとに町民がいかに非スポーツ的な生活をしているのかを知る事が出来た。

健康、それは人が生活していく資産であり、基本であることは人それぞれ百も承知しているが、計画的に生活に体育を入れて健康増進のために役立っている人、または家庭がどの位あるだろうか、この町の人々の健康増進に計り知れないものをもたらすものと確信した。以来婦人層のフォークダンスから今日まで、スポーツの生活化にお手伝いをしてきた。幸いにも広域体育館を中心とした運動公園が造築されているが、体育の町として着実な歩みを続ける姿は、官民一体の町の姿でもある。

私が、国や県の会議の席上で自信をもって発言することが出来たのも、こうした町に培われた要素が支えになったからである。このたびの表彰は、私個人ではなく、町全体がその対象であり、私はそれを代表していただいたにすぎない。

町内部落探訪記シリーズ

⑤

広ヶ野台に広がる新興住宅地

広ヶ野町内会(山田佐市会長、戸数六〇戸)は昭和四十一年に戸数二十戸の新しい町内として発足した新興住宅地である。
山田さんたちが萩形部落から移ってきたときは、わずか三戸であった。



山田会長

街ができたときは、周りが杉林や畑に囲まれていたが、五一中の建設によって、この地域の様相が一変した。

小路の行き止まり解消

昭和三十一年から道路整備が始まった。それまでの農道を幅四隣の町道に拡巾し、希望ヶ丘町内から下山内に通じる工事が昭和五十一年十一月に完成し、街中の行き止まりがなくなったのである。

新しい集会所完成

この九月には新しい集会所が完成したばかりである。
ここに住む人の大部分が勤め人や職人で、しかも若い人が多く、いろいろの行事についてもまとまりやすく積極的に行動する。

火災の再開発に取り組みようとしている。
町に対する要望について端的に話してもらった。同会長は「懸案の街灯が取付られ、夜間通行が安全になった。上げて上げれば、つぎの点である。

・町内の中央部に防火施設をつくってほしい。
・生活排水の処理施設として下水溝をつくっていただきたい。
・町の区画整理事業を進めるにあたっては、現在の環境を大切にしながら柔軟におし進めていただきたい。などをあげた。

山田会長は、上小阿仁村萩形部落から引越したのがいまから十四年前、それまでの自給自足的な生活環境から都市型の消費生活に入って大へん苦労されたとのこと。
当時を思えば、いまは月とスッポンの差であり、毎年五月になれば萩形会を催して互いの健康を励まし合うささやかな集いの場が、広ヶ野の人になりきって、新しい町づくりに励もうとする意欲が言葉の端々からうかがえる実直な会長さんである。

さあ!!仲間を求めて集まろう
あすをきづく秋田県青少年のつどい
— 自らの手で豊かな明日を —

多数(二〇〇人)を予定)の若者が一堂に集い、交友の輪を広め、地域社会に果たす青少年の役割を考えよう。

●期日
十一月二十七日(日)

●会場
五城目町 市民センター 広域体育館

●開場
午前九時～十時

●青少年広場(コーナー)昼食
十一月二十七日(日) 午後一時～三時三十分

●ヤングフエスティバル
自らの手で豊かな明日を

●スポーツシューズを持参のこと

●プログラム

●青少年広場(コーナー)
参加者、自由に参加、交流:
・スポーツコーナー
(和弓、洋弓、バレーボール、バスケット)

●フーグダンスコーナー
・スケッチコーナー
・ディスクジョッキーコーナー
・茶道コーナー
・寄席コーナー
・体力測定コーナー
・囲碁、将棋コーナー
・献血コーナー
・散策コーナー
・屋台コーナー

●食
・昼食持参、または屋台コーナー
利用のこと

●ヤングフエスティバル
自らの手で豊かな明日を
全体指導 吉田 正志
(日本レクリエーション協会)
歌 手 浅野 祥三

主催 青少年育成秋田県民会議
後援 秋田県、秋田県教育委員会
五城目町教育委員会
秋田県青少年団体連絡協議会
NHK秋田放送局
AKB秋田テレビ
秋田魁新報社

●入選
・町の資源植えよ 育てよ
千葉 金蔵 (畑町)
・造林の緑の資源に
伸びゆく郷土
嶋崎 順 (下樋口)

●佳作
・みんな育てよう
確かな人材 豊かな木材
齊藤 久子 (町村)
・日本のふるさとを育てる
木村 アヤ (畑町)
・豊かな緑 住みよい郷土
伸ばそう五城目林業
金沢 弘幸 (合地)

●入選
・町の資源植えよ 育てよ
千葉 金蔵 (畑町)
・造林の緑の資源に
伸びゆく郷土
嶋崎 順 (下樋口)

●佳作
・みんな育てよう
確かな人材 豊かな木材
齊藤 久子 (町村)
・日本のふるさとを育てる
木村 アヤ (畑町)
・豊かな緑 住みよい郷土
伸ばそう五城目林業
金沢 弘幸 (合地)

●入選
・町の資源植えよ 育てよ
千葉 金蔵 (畑町)
・造林の緑の資源に
伸びゆく郷土
嶋崎 順 (下樋口)

●佳作
・みんな育てよう
確かな人材 豊かな木材
齊藤 久子 (町村)
・日本のふるさとを育てる
木村 アヤ (畑町)
・豊かな緑 住みよい郷土
伸ばそう五城目林業
金沢 弘幸 (合地)

●入選
・町の資源植えよ 育てよ
千葉 金蔵 (畑町)
・造林の緑の資源に
伸びゆく郷土
嶋崎 順 (下樋口)

●佳作
・みんな育てよう
確かな人材 豊かな木材
齊藤 久子 (町村)
・日本のふるさとを育てる
木村 アヤ (畑町)
・豊かな緑 住みよい郷土
伸ばそう五城目林業
金沢 弘幸 (合地)

●入選
・町の資源植えよ 育てよ
千葉 金蔵 (畑町)
・造林の緑の資源に
伸びゆく郷土
嶋崎 順 (下樋口)

●佳作
・みんな育てよう
確かな人材 豊かな木材
齊藤 久子 (町村)
・日本のふるさとを育てる
木村 アヤ (畑町)
・豊かな緑 住みよい郷土
伸ばそう五城目林業
金沢 弘幸 (合地)

●入選
・町の資源植えよ 育てよ
千葉 金蔵 (畑町)
・造林の緑の資源に
伸びゆく郷土
嶋崎 順 (下樋口)

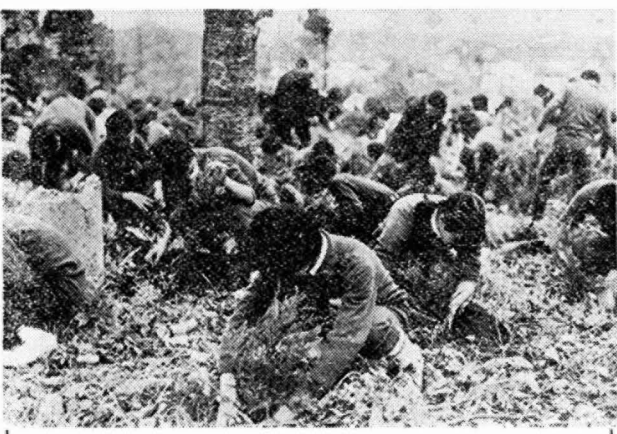
造林の緑の資源に
伸びゆく郷土

～標語入選者決まる～

町では、五城目林業と五城目町木材工業総合産地化を育てる標語を募集していたが、二十五点の応募作品があった。
十五人の審査員による厳正な審査の結果、次のとおりが入選、佳作になり、産業文化祭表彰式典の席上で、表彰状と記念品が贈られた。

▼所得税青色申告決算説明会
(五城目地区)
十二月一日 商工会館
前十時～正午まで

▼源泉所得税年末調整説明
(五城目地区)
十二月一日 町民センター
後一時～四時まで



創立30周年を記念

五一中で 杉苗700本を植樹

十一月七日午後一時から第一中学校の学校林15aに、同校の創立30周年を記念して杉苗700本が同校2、3年生徒544名の手で植樹された。

当日はうすぐもりで、生徒たちはめいめいトレーニング姿で寒さをものともせず、元気に植樹をしていた。

今日の植樹が何十年後には、りっぱな成木となって、きっと後輩たちのために貢献するであろうことを願わずにはいられない。

後輩たちのために植樹する五一中の生徒たち

工藤政志選挙の後援会
発会式並びに激励会

十一月二十三日午後一時三十分から町民センターいやさかの間で本町出身で全日本ミドル級チャンピオン工藤政志選挙の後援会発会式と同選挙の激励会が開かれる。
当日は、工藤選手が来町して町民の皆さんにあいさつを予定している。郷土を誇る工藤選手は世界タイトルの挑戦に一步一步近づいており、町民の皆さんからの暖かいご支援、ご協力をお願いしたい。

率浦大学院 十一月学習会
期日 十一月二十二日(火)
午前十時～十二時まで
会場 町民センター(いづみ)
内容 座談会「一生学びつづける心がまえについて」
講師 井上英子先生
(秋田市議会議員)

率浦大学院生は全員ご出席ください。
さい。

